

STAR

ハイダンプワゴン

取扱説明書・部品表

製品コード	K54316	・ K54335
型式	THW3520	・ THW3530
部品供給型式	AHW3500-02	
製品コード	K54444	・ K54445
型式	THW6060	・ THW6070
部品供給型式	THW6060-02	
ハイボディアタッチ		
製品コード	K54337	
型式	AOB3500	
アウトリガー延長アタッチ		
製品コード	K54340	
型式	AOE3500	
延長板アタッチ		
製品コード	K54338	・ K54339
型式	AEB3500	・ AEB6000

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社



安全に作業するため

安全に関する警告について

本機には、**!**印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

△ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

△ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

△ 注意

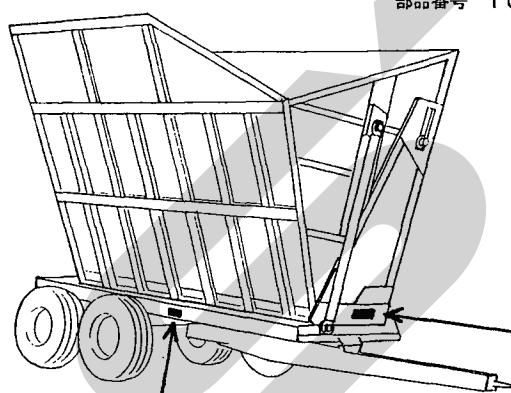
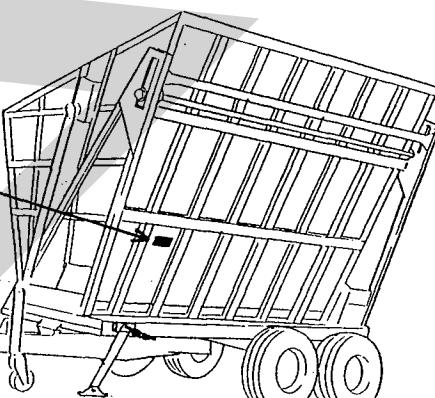
その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

△ 注意

本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。

1. 作業に適した、だぶつきのない服装で行って下さい。
2. 酒を飲んだとき、過労ぎみ、病気や妊娠しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。
3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。
4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。
5. 点検や調整をするとときは、必ずP TOなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。
6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。
7. 他人に本機を貸すときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすすめて下さい。

部品番号 106164



△ 危険

上がったバケットの下に入ると急に降下し、ケガをすることがあります。

周囲に人を近づけないで下さい。

部品番号 106469

△ 注意

傾斜地や強風時に昇降すると本機が転倒し、ケガをすることがあります。

平坦地で行って下さい。

強風時は、行わないで下さい。

昇降時は、周囲に人を近づけないで下さい。

部品番号 106471

— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してから行ってください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こしケガをする事があります。取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。
次の場合は、運転しないでください。
 - 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
 - 酒を飲んだ時。
 - 機械操作が未熟な人。
 - 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。
次に示す服装で作業してください。
 - 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
 - ズボンや上着は、だぶつきのないもの

を着用する。

□帽子を着用する。

□はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。

取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

機械の改造はしないでください。

アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。

部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検をする時は

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。
作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

▲警告

- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行うと、緊急事態への対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。
運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。
- トラクタのエンジンを始動する時、主変速レバーを「N」(中立)にして行わないと、変速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。
主変速レバーを「N」(中立)にして行ってください

作業機を着脱する時は

▲警告

- 作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいる

と、挟まれてケガをする事があります。
トラクタと作業機の間に人を近づけないで
ください。

▲注意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業機をトラクタから切り離す時、輪止めをせずに行うと、作業機が暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
切り離す時は、スタンドを接地させ、作業機の車輪に輪止めをしてください。
- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねく事があります。
トラクタヘバンパーウエイトを取り付け、バランスを取ってください。

公道走行時は作業機の装着禁止

▲注意

- トラクタに作業機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。
トラクタに作業機を連結しての走行はしないでください。

移動走行する時は

▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。
ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。
トラクタには、運転者以外の人は乗せないでください。
- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。
急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。
低速走行してください。

- 旋回する時、内輪差により周囲の人を作業機に巻き込み、ケガをさせる事があります。
周囲の人や障害物との間に十分な間隔を保ってください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こすことがあります。
路肩は走行しないでください。
- 高低差の大きい段差を乗り越えようすると、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガをすることがあります。
あゆみ板を使用してください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。
作業機の上には、人を乗せないでください。
- バケットを降下させずに移動走行すると、障害物などにぶつかりケガをする事があります。
降下させて、移動してください。

作業中は

作業する時は

▲危険

- 上がったバケットの下に入ると急に降下し、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。
また、物を載せて作業すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。
作業機の上には、人や物などはのせないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。
低速で作業してください。
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。
- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。
前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。
- 手放し運転すると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。しっかりとハンドルを握って運転してください。

▲注意

- 傾斜地や強風時に昇降すると作業機が転倒しケガをする事があります。平坦地で行ってください。強風時は行わないでください。
昇降時は周囲に人を近づけないでください。

トラクタから離れる時は

▲警告

- トラクタから離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。
- トラクタから離れる時、バケットをあげたままにしておくと、第三者の不注意により不意に降下し、ケガをする事があります。
下限まで降ろしてからトラクタを離れてください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲注意

- エンジンをとめずに付着物の除去作業などをを行うと、トラクタが不意に動き出して思わぬ事故を起こす事があります。
エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて行ってください。
- バケットをあげた状態のまま下で清掃すると、不意にバケットが降下しケガをすることがあります。
棒などで降下防止をして行ってください。

終業点検をするときは

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- バケットを上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、バケットが不意に降下し、ケガをする事があります。
棒などで降下防止をして行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲注意

- エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意にバケットが昇降し、思わぬ事故を起こす事があります。
エンジンをとめて行ってください。
- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- バケットをあげた状態のまま下で不調処置・点検・整備をすると、不意に降下し、ケガをする事があります。棒などで降下防止をして行ってください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。
補修もしくは部品交換してください。
継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。

もくじ



安全に作業するため

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	4
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	4
作業中は	4		

1 トラクタへの装着

1 各部の名称	7	5 トラクタへの装着	10
2 適応トラクタの範囲	7	1. ドローバへの連結	10
3 組立部品	8	2. トラクタ外部油圧の取出し	10
4 オプション品	8		

2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	11	2 エンジン始動での点検	11
1. トラクタ各部の点検	11	1. 油圧系統の点検	11
2. 連結部の点検	11	3 給油箇所一覧表	13
3. 製品本体の点検	11		

3 作業の仕方

1 本製品の使用目的	14	2 作業要領	14
------------	----	--------	----

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ 15	3 長期格納する時 15
2 トラックタの切離し 15		

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表 16
-----------	----------

6 不調時の対応

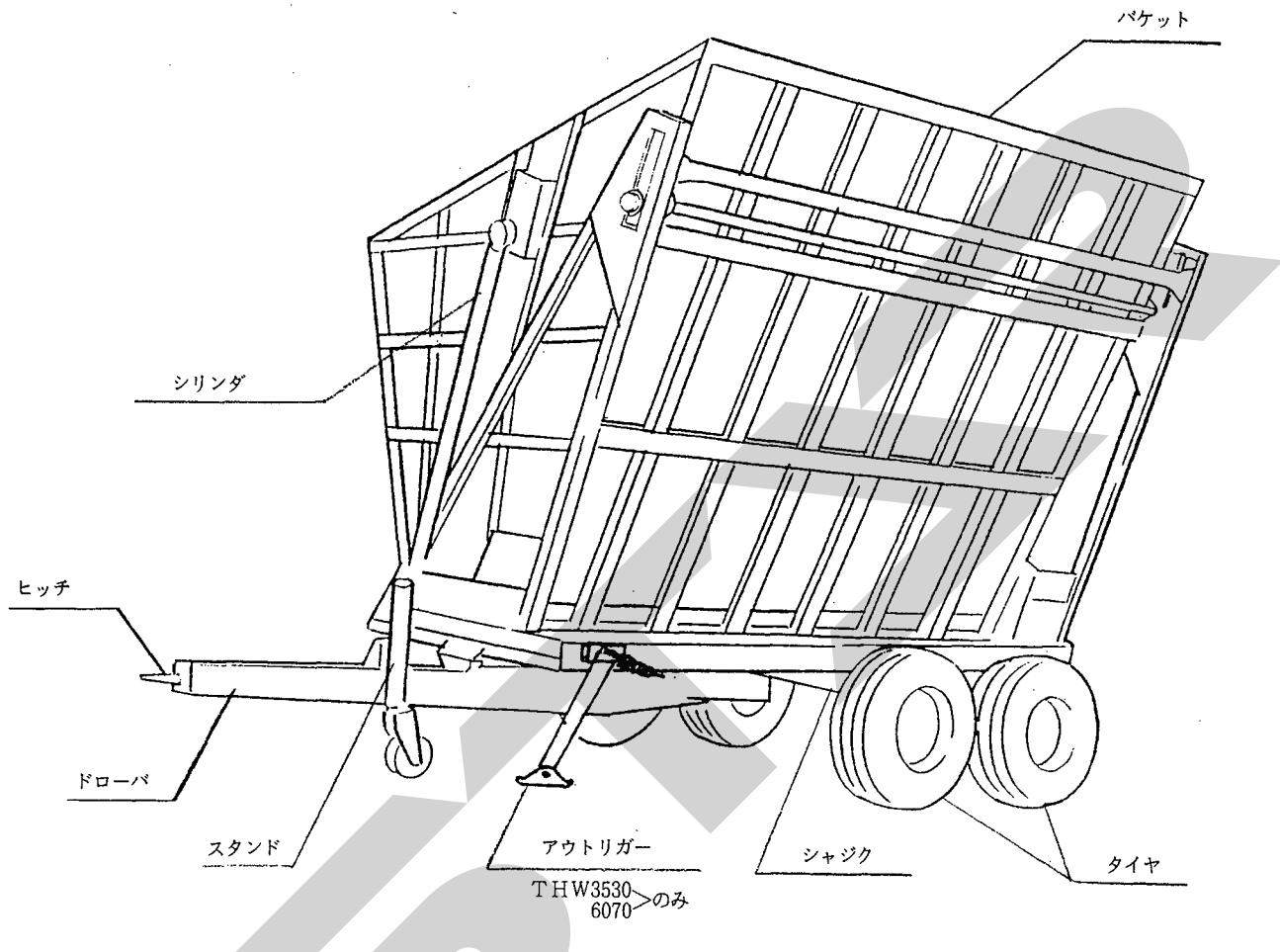
1 不調処置一覧表 17	2 各部の調整 18
-----------	----------	---------	----------

7 部品表

19

1 トラクタへの装着

1 各部の名称



2 適応トラクタの範囲

本製品は適切なトラクタとの装着により的確に性能を発揮できるように設計されています。

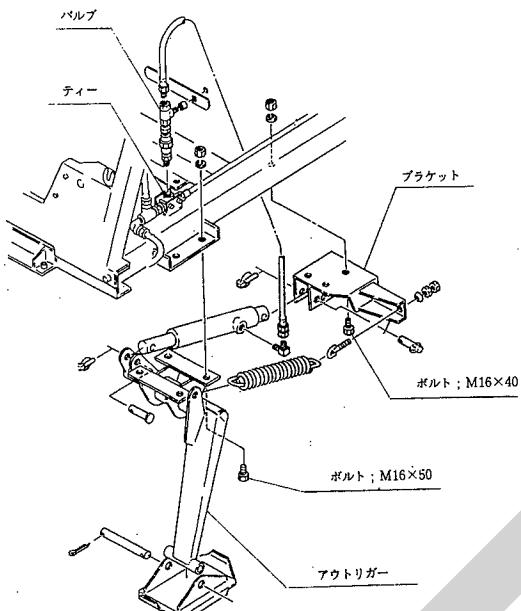
不適切なトラクタとの装着によっては、本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

この製品は適応トラクタ馬力と最大積載量は次のとおりです。

型式	適応トラクタ馬力	最大積載量
TH W3520	40~80PS	3,500kg
TH W3530		
TH W6060	55PS~	6,000kg
TH W6070		

3 組立部品

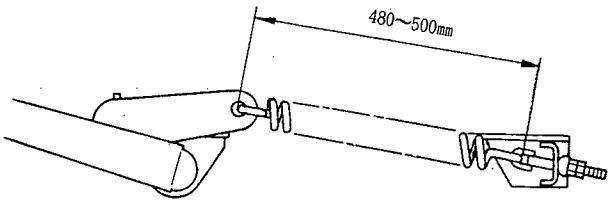
1. アウトリガーの組立<THW3530のみ>



- ① ブラケット ② アウトリガーをそれぞれフレームにボルトで取り付け、油圧シリンダ、スプリング及び油圧の配管を行ってください。
1) シリンダの取付位置はBの穴に組付けてください。

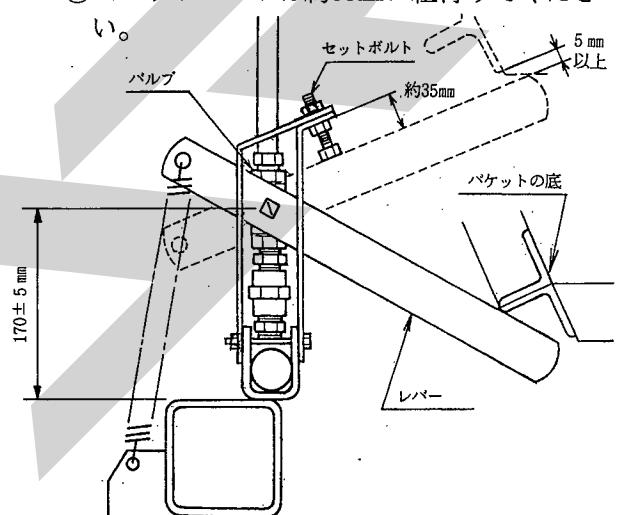


- 2) スプリングの張りは、アウトリガーが上がった状態で480~500mmが標準寸法です。

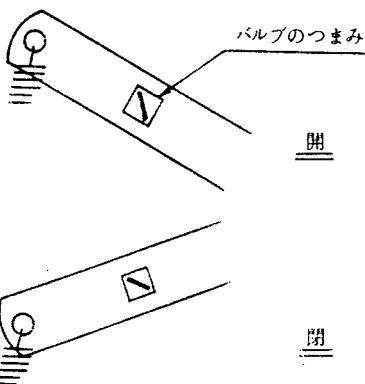


3) バルブの取付け

- ① ティーについているプラグを抜き、バルブを組付けてください。バルブのつまみの位置がフレームから 170 ± 5 mmとなるよう締め付けてください。
② セットボルトは約35mmに組付けてください。



- ③ レバーは、バケットが降りているとき、つまみを“開”の状態にして組み付けてください。



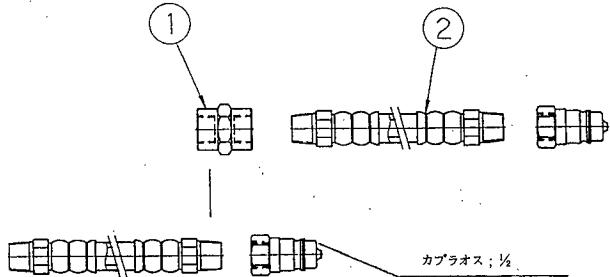
4 オプション品

1. 延長油圧ホース<THW3520のみ>

本機は直結型ハーベスターでの作業に適する油圧ホースが標準です。
けん引型ハーベスターでのワンマン作業を行う時は、延長用として4mの油圧ホースを用意していますのでご利用ください。

部品番号	部品名称
① K S 40G	ソケット； $\frac{1}{2}$
② 88416	ユアツホース； $\frac{1}{2} \times 4,000$

(1) 取付方法



本機についているカプラオス； $\frac{1}{2}$ をはずし、
①ソケット、②ユアツホースを図のよう取り付け、その先にカプラオス； $\frac{1}{2}$ を取り付けてください。

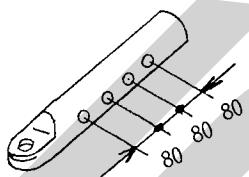
取扱い上の注意

取り付けの際には必ずシールテープを巻いて取り付けてください。

2. ヒッヂ

ヒッヂの長さを4段階（標準は2段階）に調節できる部品を用意しております。

部品番号	部品名称
68518	ヒッヂカン



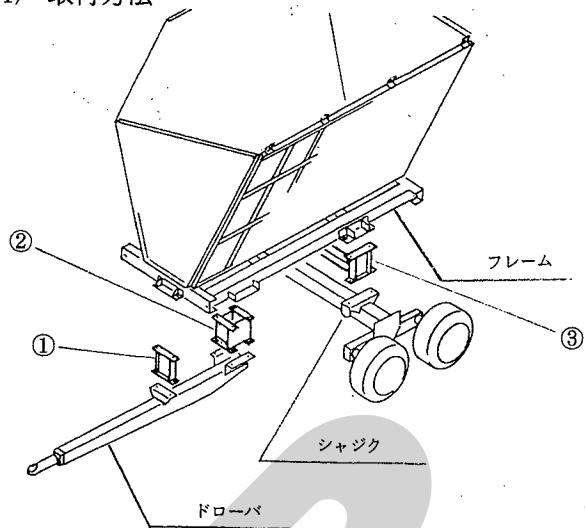
(1) 取付方法

「6-2 各部の調整」に基づき取り付けてください。

3. ハイボディアタッチ AOB3500

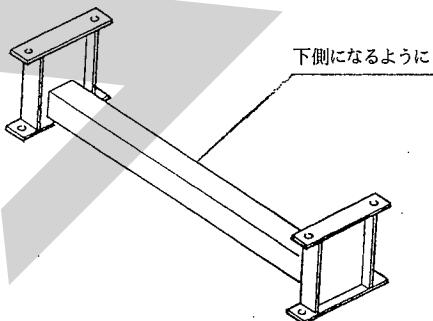
ダンプ作業においてアオリの高い運搬車へ積み替えを可能にするため、バケットを30cm上方へ移動させるアタッチメントです。

(1) 取付方法



上図のようにドローバとシャジクとフレームの間に①②③のブラケットを、はさみ込み、ボルトで固定してください。

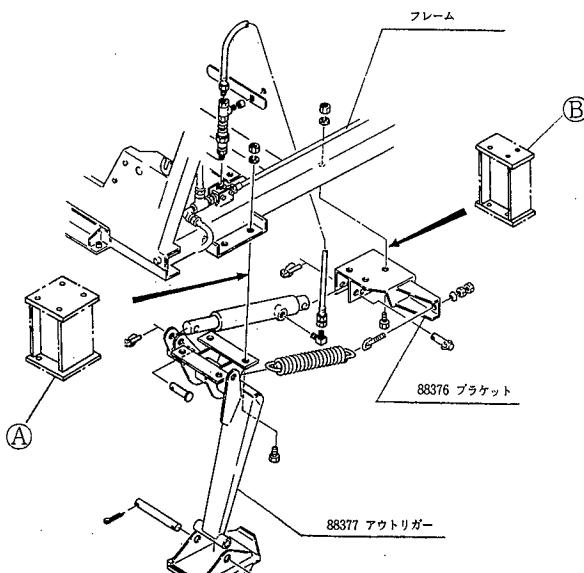
③ブラケットは下図のように角パイプが下方にくるように取り付けてください。



4. アウトリガーエンタルチ AOE3500

<THW3530
6070のみ>

ハイボディアタッチを装着した際、アウトリガーアジャスト用として必要になるアタッチメントです。

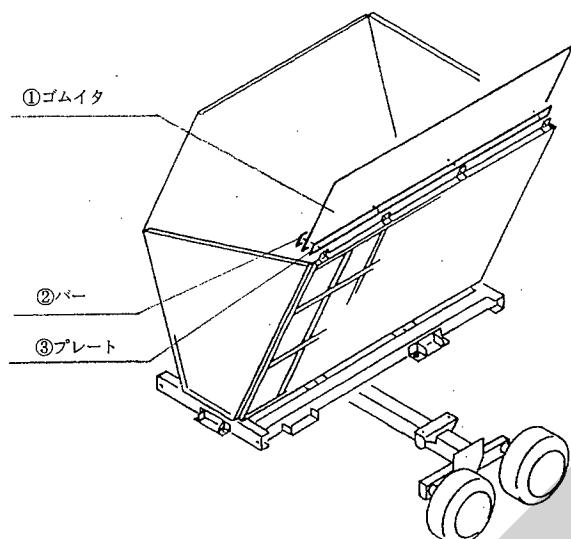


ⒶⒷのブラケットをフレームと88377アウトリガー、88376ブラケットの間にそれぞれはさみ込み、ボルトで固定してください。

5. 延長板アタッチ • AEB3500 • AEB6000

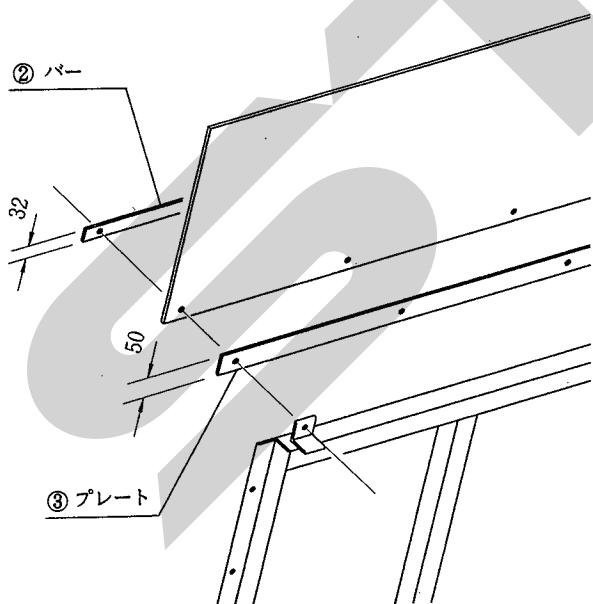
ダンプ作業時のこぼれ防止用として用意しております。

(1). 取付方法



図のように③プレート、①ゴムイタ、②バーの順に本体へボルトで固定してください。

※幅の広い方が、プレートです。(下図参照)



5 トラクタへの装着

1. ドローバへの連結

▲警告

- 作業機を連結するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいると、挟まれてケガをする事があります。トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

▲注意

- 作業機をトラクタに連結する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。必ず平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 連結するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねく事があります。トラクタヘバンパーウエイトを取り付け、バランスを取ってください。

(1) 作業機のスタンドハンドルを回し、トラクタのけん引ヒッチ高さに作業機のヒッチ高さを合わせてください。

(2) トラクタのエンジンを始動し、静かに後進させ、トラクタのけん引ヒッチおよび作業機のヒッチの連結点の穴を合わせて、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。

(3) トラクタ付属のヒッチピンを通して、リンチピンなどで抜け止めをしてください。

(4) スタンドハンドルを回し最縮位置まで上げ、折りたたんでください。

2. トラクタ外部油圧の取出し

作業機の油圧シリングは単動1系統でカプラは $\frac{1}{2}$ オスとなっています。

作業機のカプラをトラクタ油圧取出口のカプラに接続してください。

2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

(1) トラクタの取扱説明書に基づき、点検を行ってください。

(2) トラクタ油圧オイルの点検

本作業機はトラクタの外部油圧取出装置を利用して作業を行います。油圧シリンダを作動させるために必要な油圧オイルは下表の通りです。

型 式	T H W ³⁵²⁰ 3530	T H W ⁶⁰⁶⁰ 6070
オイルの量	8.0 ℥	11.0 ℥

2. 連結部の点検

(1) ヒッチ部の点検

トラクタのけん引ヒッチと作業機のヒッチはトラクタ付属のヒッヂピンで連結され、リンクピン等で抜け止めがされているか。

不具合が見つかった時は「1-3 トラクタへの装着」の説明に基づき不具合を解消してください。

(2) 油圧接続の点検

油圧カプラがきちんとトラクタ側カプラに接合されているか。

3. 製品本体の点検

(1) 油圧配管部からのオイル漏れがないか確認してください。

不具合が見つかった時は「6-1 不調処置一覧表」に基づき不具合を解消してください。

(2) 各部ボルト・ナット類にゆるみがないか確認してください。

不具合が見つかった時は増し締めしてください。

(3) 各部に損傷部品、脱落部品がないか確認してください。

不具合が見つかった時は補修もしくは部品交換してください。

(4) 各部の給脂は充分か確認してください。

不具合が見つかった時は「2-3 給油箇所一覧表」に基づき油脂を補充してください。

(5) タイヤの空気圧は正常か確認してください。

標準空気圧は下表の通りです。

不具合が見つかった時は下表に基づき空気圧を調整してください。

型 式	T H W ³⁵²⁰ 3530	T H W ⁶⁰⁶⁰ 6070
タイヤサイズ	11L-15-8PR	12.5L-15-8PR
空 気 圧	295KPa (3.0kgf/cm ²)	275KPa (2.8kgf/cm ²)

2 エンジン始動での点検

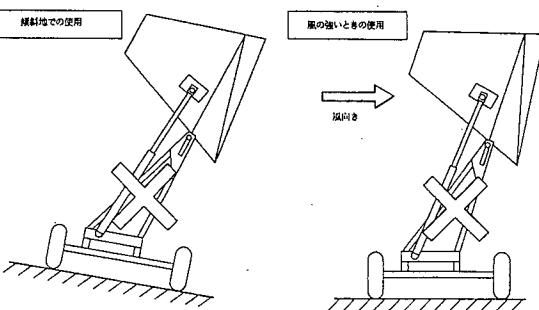
▲ 危険

- 上ったバケットの下に入ると急に降下しけガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。

▲ 注意

- 傾斜地や強風時に昇降すると、作業機が転倒し、ケガをする事があります。
平坦地で行ってください。
強風時は行わないでください。
昇降時は周囲に人を近づけないでください。

※危険ですので下記状態にてハイダンプ作業は行なわないでください。



1. 油圧系統の点検

(1) T H W3520、6060の点検

トラクタエンジン回転を低速にしてから外部油圧操作レバーを操作し、油圧シリンダが最も伸びた状態になるまでバケットを上昇させ、操作レバーを中立位置にしてください。

この状態でバケットが降下するなど油圧系統に不具合が見つかった時は「6-1 不調処置一覧表」の説明に基づき不具合を解消してください。

(2) THW3530、6070の点検

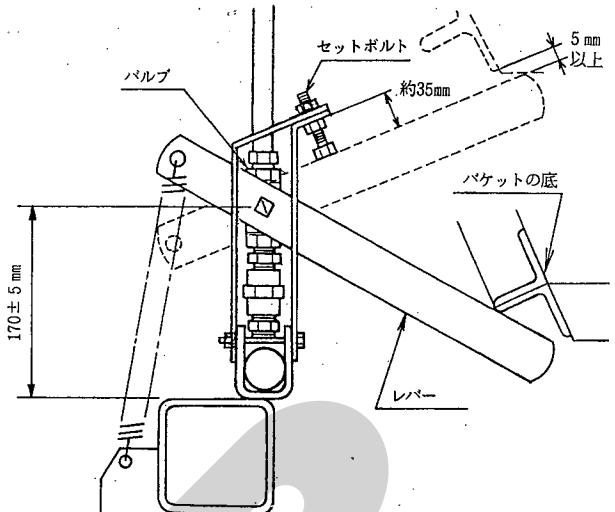
- ① トランクエンジン回転を低速にしてから外部油圧操作レバーを操作し、バケットが回転を始める直前までバケットを上昇させてください。

この時アウトリガーが接地し、レバーがバケット底部と5mm以上のスキマを保っているか確認してください。

アウトリガーが接地していないかなかったりバケット底部とレバーのスキマが5mm以下の場合は「1-3-1 アウトリガーの組立」に記載された通りに組立られているか点検し不具合が見つかった時はその説明に基づき不具合を解消してください。

- ② 外部油圧操作レバーを操作し油圧シリンダが最も伸びた状態になるまでバケットを上昇させ、操作レバーを中立位置にしてください。この状態でバケットが降下するなど油圧系統に不具合が見つかった時は「6-1 不調処置一覧表」の説明に基づき不具合を解消してください。

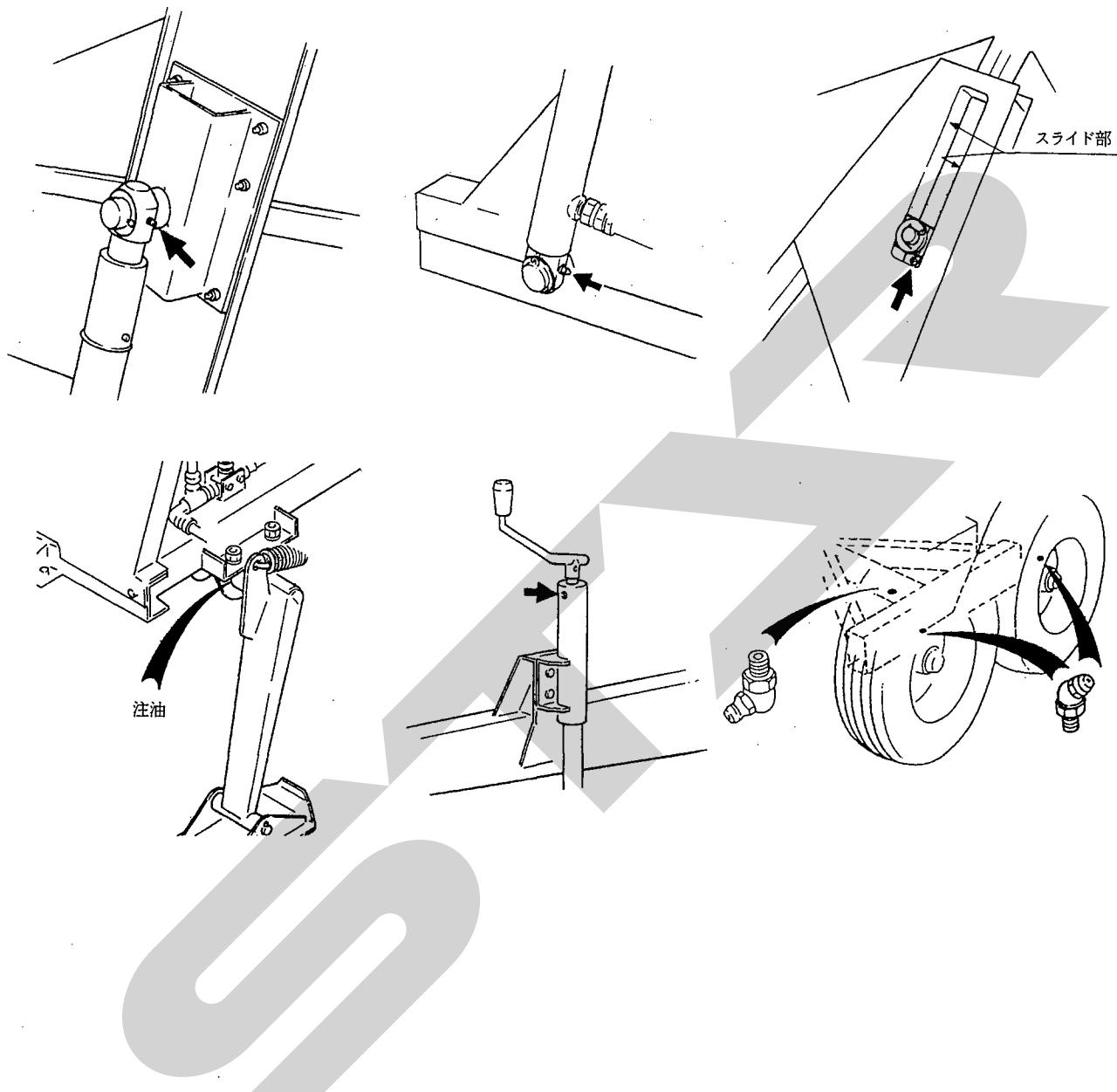
- ③ 外部油圧操作レバーを操作し油圧シリンダを縮めバケットを降下させてください。バケットが降り切る前にアウトリガーが収納位置に戻る場合は「1-3-1 アウトリガーの組立」に記載された通り組立られているか点検し、不具合が見つかった時はその説明に基づき不具合を解消してください。尚、油モレの現象が無く、しかもバルブが図示された 170 ± 5 mmの範囲に位置しない時は販売店にご連絡願います。



3 給油箇所一覧表

○給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。

○グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。



No.	給脂場所	箇所	潤滑油の種類	交換時間	給油量	備考
1	シリンドラ先端	2	グリース	使用毎	適量	給脂
2	シリンドラ根本	2	"	"	"	"
3	ダンプ支点	2	"	"	"	"
	ダンプ支点スライド部	2	"	"	"	"
4	アウトリガー支点	1	オイル	"	"	給油
5	スタンド	1	グリース	"	"	給脂
6	シャジク	2	"	"	"	"
	ハブ	4	"	"	"	"

3 作業の仕方

1 本製品の使用目的

本製品は牧草、長穀作物等の収穫物の積み込み及び荷降ろしに使用するものです。
他の用途には使用しないでください。

2 作業要領

1. 左右がほぼ均等になるようにバケットの後部から順次前方に向けて収穫物を積載してください。
2. バケットがほぼいっぱいになったらエンジン回転を低速にしてから外部油圧操作レバーを操作し、バケットをゆっくり上昇させながら作業機の側方に位置する運搬車に収穫物を移してください。

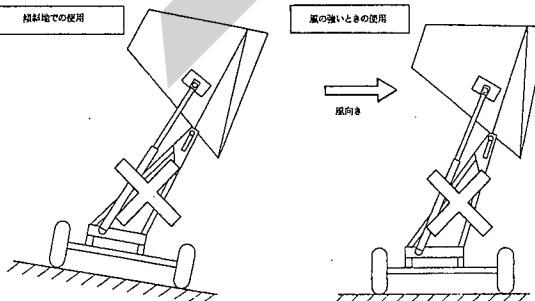
▲ 危険

- 上ったバケットの下に入ると急に降下しけがすることがあります。
周囲に人を近づけないでください。

▲ 注意

- 傾斜地や強風時に昇降すると、作業機が転倒し、ケガをする事があります。
平坦地で行わないでください。
昇降時は周囲に人を近づけないでください。

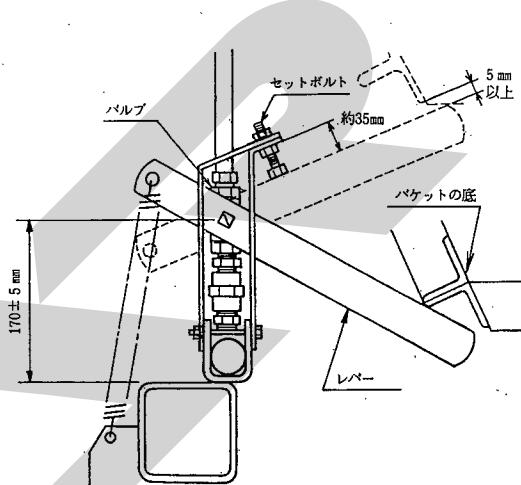
※危険ですので下記状態にてハイダンプ作業は行なわないでください。



取扱い上の注意

バケットが上っている時、バルブに取り付けられたレバーを下げると、アウトリガーが上昇します。

バケットが上っている時は、レバーを下げないでください。



3. バケット内の収穫物を運搬車に移し終えたら、外部油圧操作レバーを逆方向に操作し、バケットが降りきるまで降下させてから積込作業を始めてください。
尚、アウトリガーを装備した作業機はアウトリガーが上昇しきってから積込作業を始めてください。

4 作業がおわったら

1 作業後の手入れ

機械を長持ちさせるため、清掃、手入れは必ず行いましょう。

▲注意

- エンジンをとめずに付着物の除去作業などを行うと、トラクタが不意に動き出して思わぬ事故を起こす事があります。
エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて行ってください。
- バケットをあげた状態のままで清掃、手入れをするときバケットが不意に降下し、ケガをすることがあります。棒などで降下防止をして行ってください。

1. 機械に付着している収穫物等は、きれいに取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか、破損部品がないか確認してください。
異常があればボルトの締め直し、部品の交換をしてください。
3. 各部給油箇所は「2-3 純正部品一覧表」に従って給油してください。

2 トラクタの切り離し

▲注意

- 作業機をトラクタから切り離す時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動きだし、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業機をトラクタから切り離す時、輪止めをせずに行うと、作業機が暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
切り離す時は、必ず、スタンドを接地させ、作業機の車輪に輪止めをしてください。

1. トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。
2. 作業機の車輪に輪止めをしてください。

3. バケットを下限までさげて、トラクタの外部油圧回路をロックし、カプラ部から切り離してください。

切り離した油圧ホースが束ねて、ホースウケにかけてください。

取扱い上の注意

カプラ部の切り離しをする時、バケットを上げたまま切り離すと、接続する時に、カプラに圧力がかかっているため、接続できなくなります。

バケットを下限まで下げる、油圧回路内に残圧がかからないようにして行ってください。

4. 作業機のスタンドを立て、ヒッチがトラクタのけん引ヒッチから浮き上がるまで、スタンドハンドルを回してください。
5. ヒッチピンの抜け止めピンを外し、ヒッチピンを抜いてください。
6. トラクタのエンジンを始動し、静かに前進させ、けん引ヒッチから作業機のヒッチを外してください。
7. 取り外したヒッチピンは、抜け止めピンとともに、保管してください。

3 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は交換してください。
3. 純正部品一覧表に基づき油脂を補給してください。
4. 塗装損傷部を塗装または油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。
6. 格納場所は平坦な所で、タイヤに輪止めをかけて、保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

▲注意

- エンジンを止めずに作業すると、第三者の不注意により、不意にバケットが昇降し、思わぬ事故を起こす事があります。エンジンを止めて行ってください。
- バケットを上げて作業する時、第三者の不注意により、不意に降下しケガをする事があります。棒・枕木等で降下防止をして、行ってください。

1 点検整備一覧表

時 間	点 檢 項 目	処 置
新品使用 1時間	全ボルト・ナットのゆるみ	増し締め
使 用 每 (始業終業点検)	<ul style="list-style-type: none">・機械の清掃・各部ボルト・ナットの緩み・各部の給油・給脂・各部の損傷、部品脱落・油圧ホース接続部からのオイル漏れ・油圧カップリング部からのオイル漏れ・タイヤの空気圧	<ul style="list-style-type: none">増し締め「給油箇所一覧表」に基づき給油・給脂部品交換、取付増し締め、またはシールテープの交換カップリングの再結合、または部品の交換「2-1 運転前の点検」に基づきチェック
シーズン終了後	<ul style="list-style-type: none">・機械の清掃・各部ボルト・ナットの緩み・各部給油・給脂・油圧配管部からのオイル漏れ・塗装損傷部	<ul style="list-style-type: none">増し締め「給油箇所一覧表」に基づき給油・給脂増し締め、またはシールテープの交換塗装または油塗布

取り扱い上の注意

本製品は、トラクタの外部油圧を利用して作業する機械です。

トラクタ油圧関係の点検（オイルの量は確保されているか、オイルが劣化していないか等）も合わせて行ってください。

6 不調時の対応

トラブルが発生したら「不調時一覧表」に基づき、エンジンを止めてから処置してください。

▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動きだして、思わぬ事故を起こすことがあります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。

- エンジンを止めずに作業すると、第三者の不注意により不意にバケットが昇降し思わぬ事故を起こす事があります。
エンジンを止めて行ってください。
- バケットを上げて作業する時は、第三者の不注意により不意に降下しケガをする事があります。棒・枕木等で降下防止をして行ってください。

1 不調処置一覧表

	症 状	原 因	処 置
油圧配管部	オイル漏れ	接続部の締め込み不足	増し締め
		シールテープの劣化	シールテープの交換
		カップリング接合部が完全に接続になっていない。	再接合
		カップリングの規格が合っていない	同規格のオス・メスのカップリングに交換
		油圧ホースの損傷	部品の交換
ダンプ部	ダンプしない	油圧カップリングが接合されていない	カップリングを接合
		油圧カップリングの規格が合っていない	同規格のオス・メスのカップリングに交換
アウトリガー	接地しない	スプリングの張りが強い	「3-2 各部の調整」に基づき調整
	もどらない	スプリングの張りが弱い	「3-2 各部の調整」に基づき調整
	バケットが戻る前にアウトリガーが戻る	バルブの調整不良	「3-2 各部の調整」に基づき調整

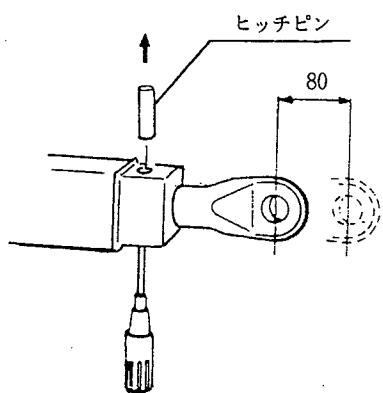
不調時の原因や処置の仕方がわからない場合は下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

2 各部の調整

1. ヒッチ長さの調節

作業機はヒッチ長さを変える事ができます。ヒッチを縦にして、ドローバの下側の穴にドライバー等を差し込みヒッチピンを抜いてください。ヒッチ側に穴が2箇所ありますので適当な穴を選び、ヒッチピンでドローバに取り付けてください。

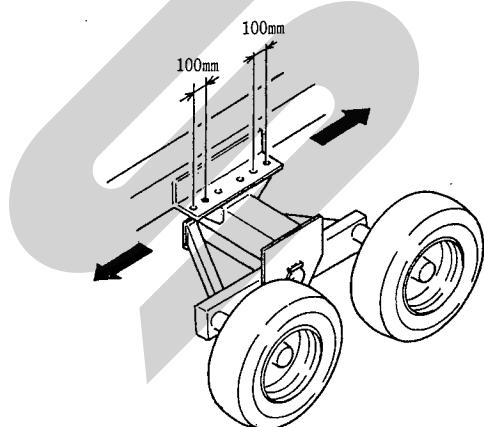


2. 車軸位置の調整《THW6060・6070のみ》

本作業機は車軸位置を、前後に移動することができます。

ハーベスターとの連結状態などにより、前後に組替えて作業してください。

出荷時の車軸の位置は中央部に組み付けてあります。



7 部品表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式（型式）
- ③ 部品名称（部品表を参照してください。）
- ④ 部品番号（ “ ” ）
- ⑤ 個数（ “ ” ）

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「見付」と表示している部品には、該当見出番号の部品が付属されております。

（例）

見出番号	部品番号	部分名称	個数
1	92602	シャフト	見付 2付
2	ONAS6	グリースニップル；A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

（例）BZ0815A (G)

(メッキ仕上げ)

A ; ナット・スプリングワッシャ付
D ; ナット2個付
N ; ナット付
P ; ワッシャ付
W ; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の□・□は、以下のことを表しております。

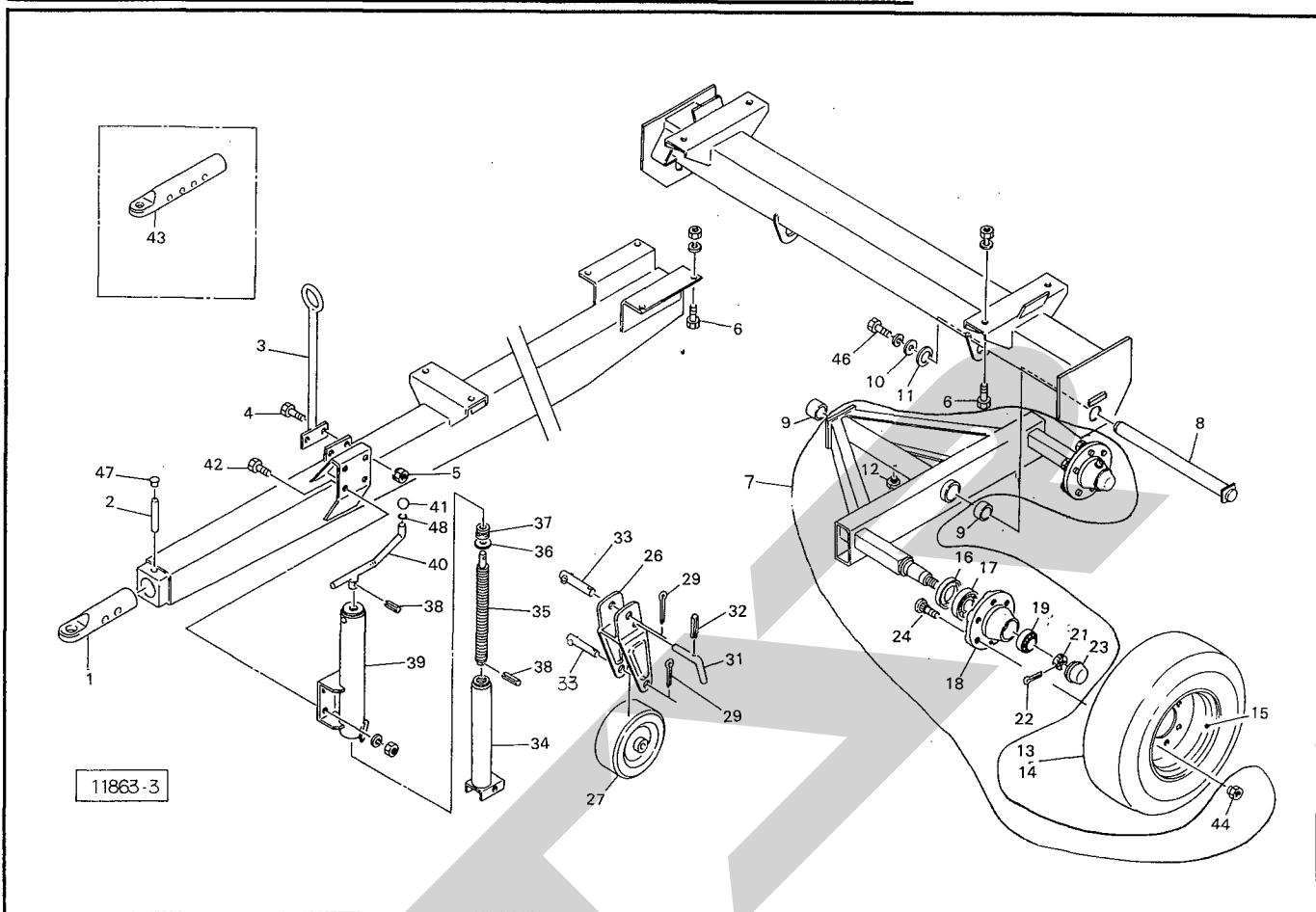
- …シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品。
- …アッセイ品に含まれる部品で、単品では供給しない部品。

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

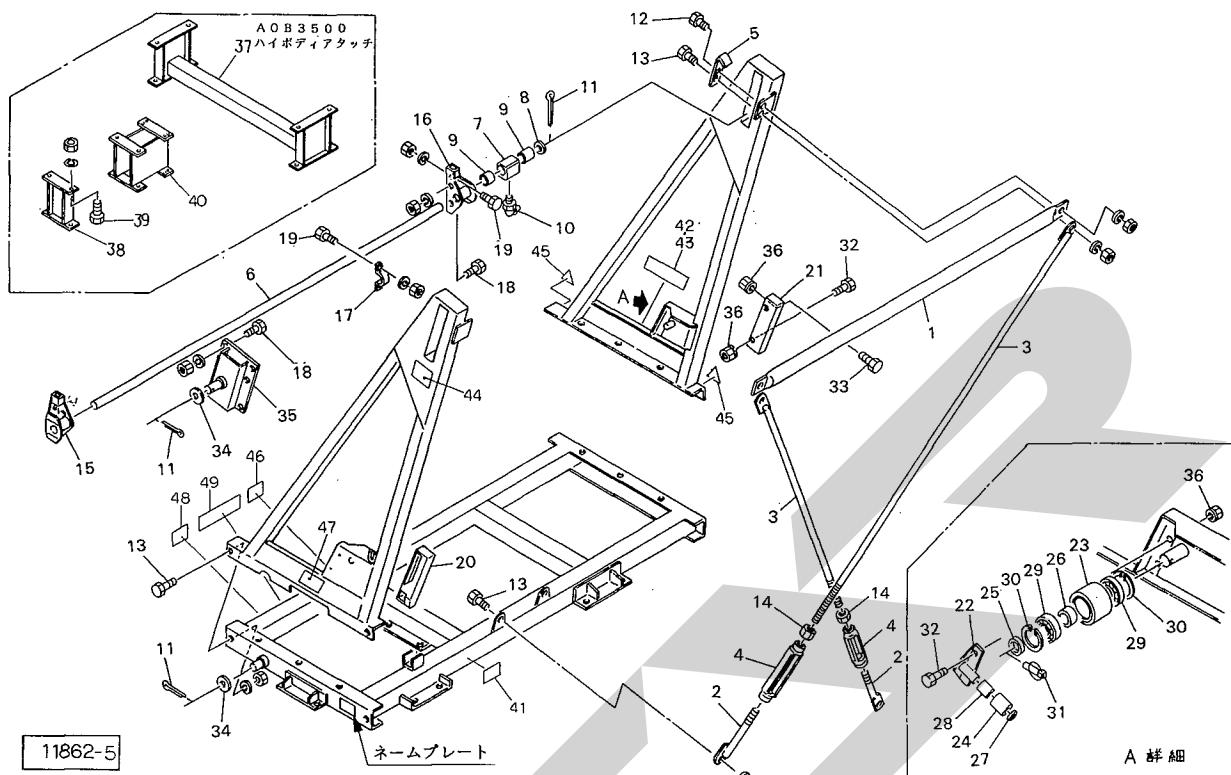
補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

**THW 3520・3530・6060・6070 ハイダンプワゴン
ドローバ・シャジク・スタンド**



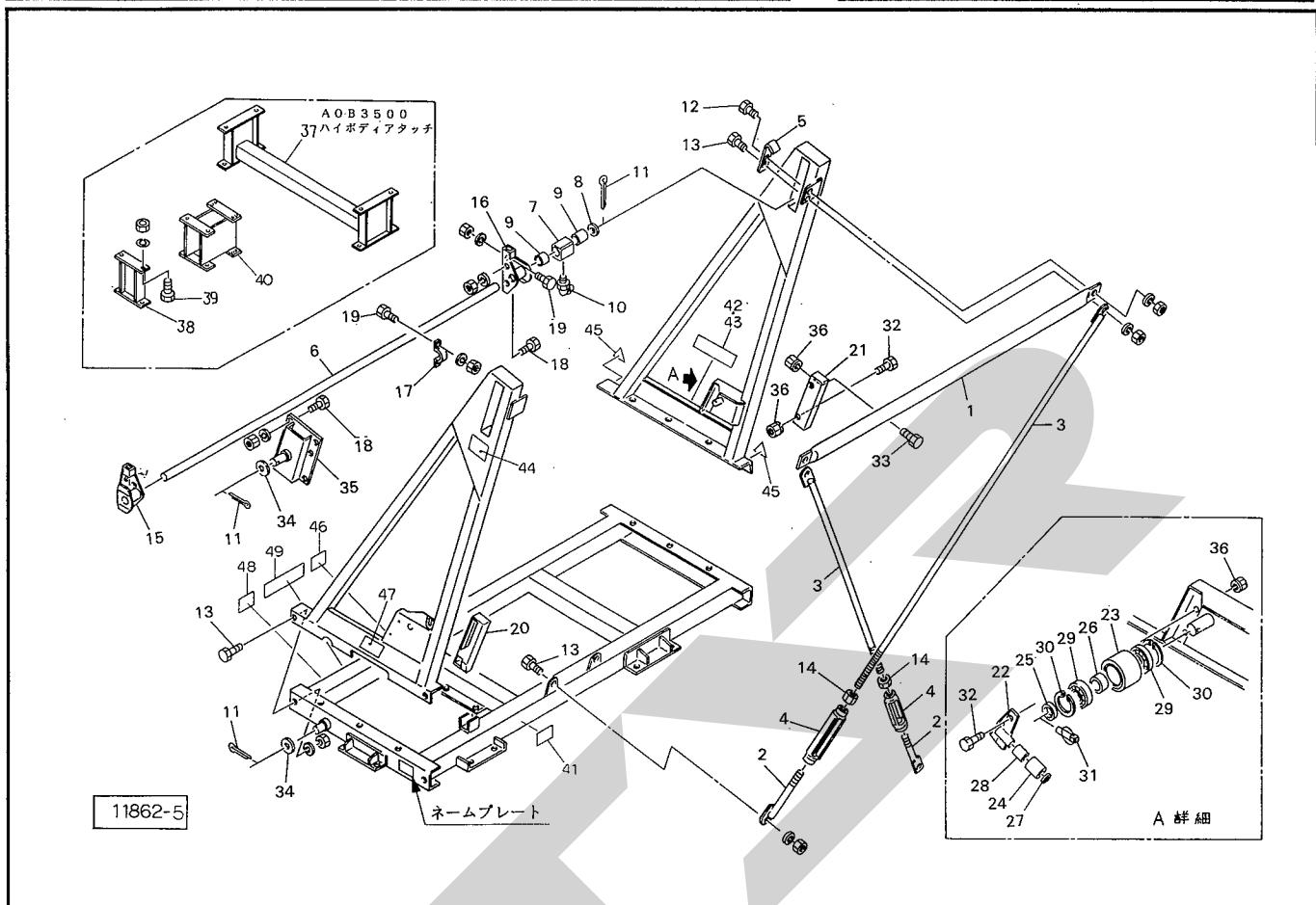
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	66323	ヒッチカン；φ60	1	26	58611	アーム	1
2	78718	ピン	1	27	58617	ホイール	1
3	87024	ホースサポート	1	29	PC5036G	ワリピン；5×36	2
4	BZ1035G	ボルト；M10×35 (8.8)	2	31	58642	ピン	1
5	NP10G	スプリングナット；M10	2	32	PS6025	スプリングピン；6×25	1
6	BZ1640AG	ボルト；M16×40 (8.8)	10	33	68131	ピン	1
7	103570	ハブツキシヤジク；980	2	34	63725	ホルダ	1
8	75468	ピン	2	35	63727	シャフト	1
9	73092	メタル	4	36	58616	ザガネ	1
10	64021	ワッシャ	2	37	J51104	スラストベアリング；51104	1
11	66208	ワッシャ；φ51	2	38	PS8032	スプリングピン；8×32	2
12	ONBS1	グリースニップル；B-PT1/8	2	39	66372	プラケット	1
13	00384	タイヤ；11L-15-8PR THW3520、3530	4	40	58636	ハンドル	1
	00382	タイヤ；12.5L-15-8PR THW6060、6070	4	41	66724	グリップ	1
14	00389	チューブ；11L-15 THW3520、3530	4	42	BZ1230AG	ボルト；M12×30 (8.8)	4
	00388	チューブ；12.5L-15 THW6060、6070	4	43	68518	ヒッチカン オプション	1
15	102973	ホイール；10J×15	4	44	00884	ホイールナット；M18×1.5	24
16	00881	リティニングリング	4	46	BZ1640WG	ボルト；M16×40 (8.8)	2
17	J30213	テープベアリング；30213	4	47	MS17	穴用メクラキャップ；φ17	1
18	00880	ハブ；F90×120	4	48	58640	バネ	1
19	J30210	テープベアリング；30210	4	Asy	00862Asy	タイヤ；11L-15-8PR (クミ) THW3520、3530 (13~15付)	4
21	00882	キャッスルナット；M39×2.0	4			タイヤ；12.5L-15-8PR (クミ) THW6060、6070 (13~15付)	4
22	PC6356G	ワリピン；6.3×56	4	Asy	00863Asy	タイヤ；12.5L-15-8PR (クミ) THW6060、6070 (13~15付)	4
23	00883	キャップ；90	4				
24	00878	ボルト；M18×1.5×49	24				

THW3520・3530・6060・6070 ハイダンプワゴン AOB3500 (オプション)
フレーム・サポート ハイボディアタッチ

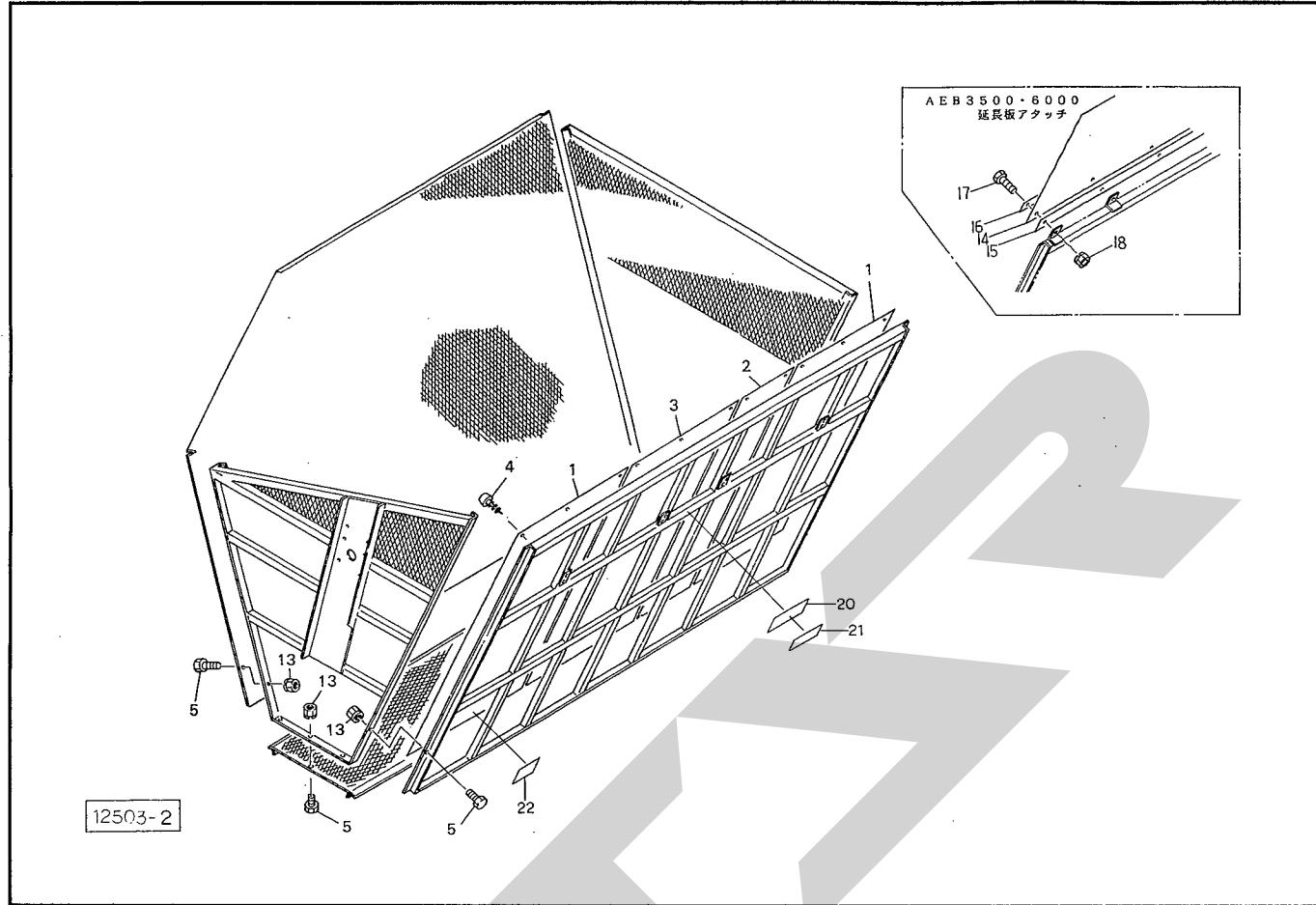


番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	88367	ステー THW3520、3530	1	21	90289	ガイド；Re	1
	88350	ステー THW6060、6070	1	22	88358	ピン	2
2	88503	ロッド；L	2	23	88359	ローラ；1	2
3	88477	ロッド；R THW3520、3530 見14付	2	24	88360	ローラ；2	2
	103136	ロッド；R THW6060、6070 見14付	2	25	56846	カラー；35×6	2
4	88502	ターンバッカル；M16	2	26	59774	カラー；35.7×12	2
5	91812	アンダル	2	27	58125	ワッシャ	2
6	88353	シャフト THW3520、3530	1	28	75127	カラー	2
	88352	シャフト THW6060、6070	1	29	J6207LLU	ペアリング；6207LLU	4
7	88474	パイプ 見9、10付	2	30	DHC72	スナップリング；H72	4
8	66080	ワッシャ；φ41	2	31	00739	リンチピン；9	2
9	404430	ドライメットブッシュ；404430	4	32	BZ1030G	ボルト；M10×30 (8.8)	8
10	ONCS1	グリースニップル；C-PT1/8	2	33	BZ1035G	ボルト；M10×35 (8.8)	4
11	PC8063G	ワリpin；8×63	6	34	66208	ワッシャ；φ51	4
12	BZ1650AG	ボルト；M16×50 (8.8)	2	35	88361	プラケット 見11、34付	2
13	BZ1640AG	ボルト；M16×40 (8.8)	14	36	NP10G	スプリングナット；M10	12
14	NZ16G	ナット；M16 (8)	2	41	106470	ラベル；ケイコク56 THW3530、6070	1
15	88354	プラケット；F	1	42	94323	ラベル；ストライプ90×350	1
16	88355	プラケット；Re	1	43	00836	STARマークラベル(シロ)；40	1
17	66142	クランプ THW3520、3530	2	44	66298	チュウイマーク	1
	66142	クランプ THW6060、6070	4	45	00330	サンカクハンシャプレート	2
18	BZ1230AG	ボルト；M12×30 (8.8)	16	46	106469	ラベルケイコク55	1
19	BZ1235AG	ボルト；M12×35 (8.8) THW3520、3530	8	47	106471	ラベル；ケイコク57	1
	BZ1235AG	ボルト；M12×35 (8.8) THW6060、6070	12	48	68289	マーク THW6060、6070	1
20	90288	ガイド；F	1	49	103295	ラベル；6000 (シロ) THW6060、6070	1

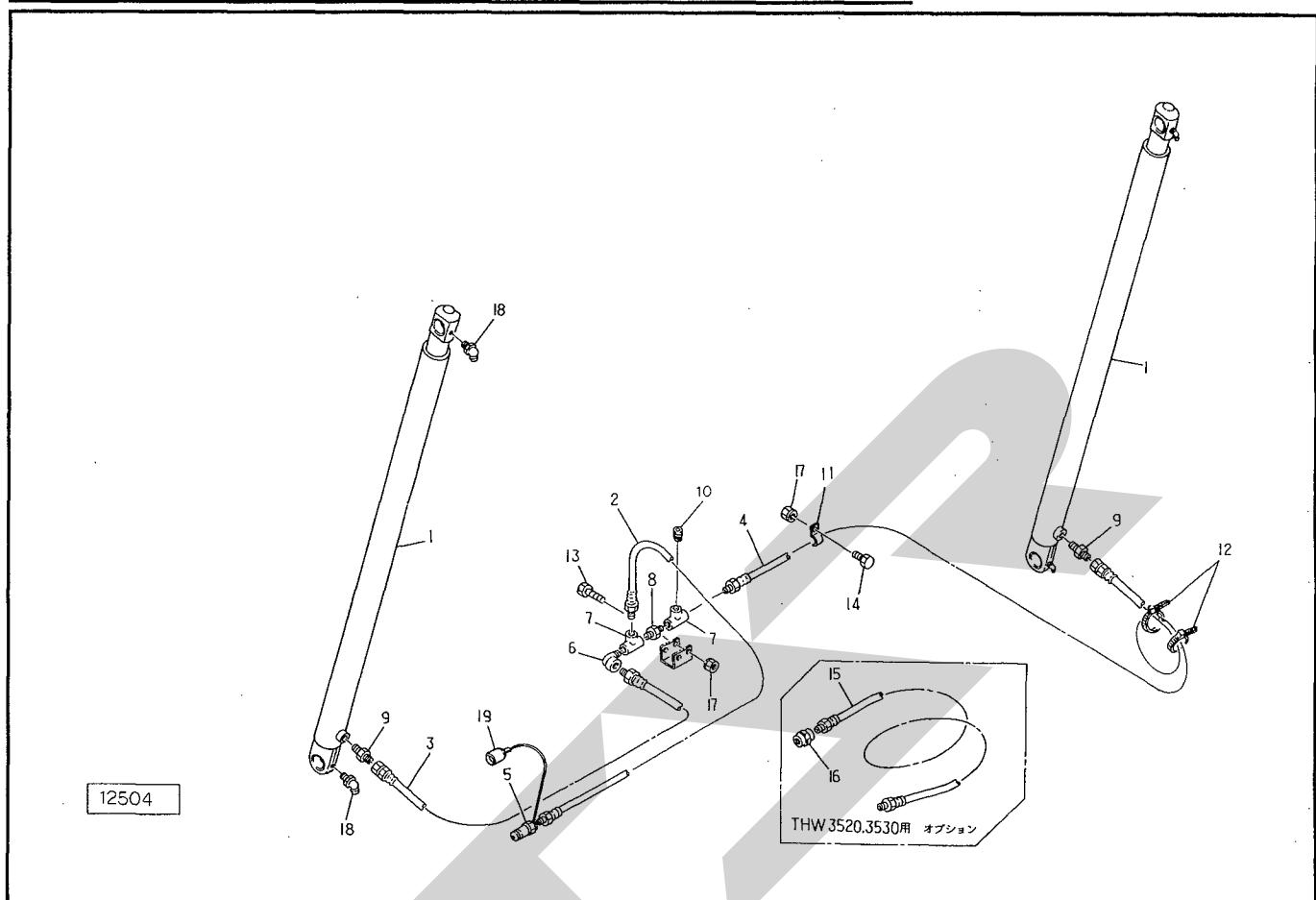
THW3520・3530・6060・6070 ハイダンプワゴン AOB3500 (オプション)
フレーム・サポート ハイボディアタッチ



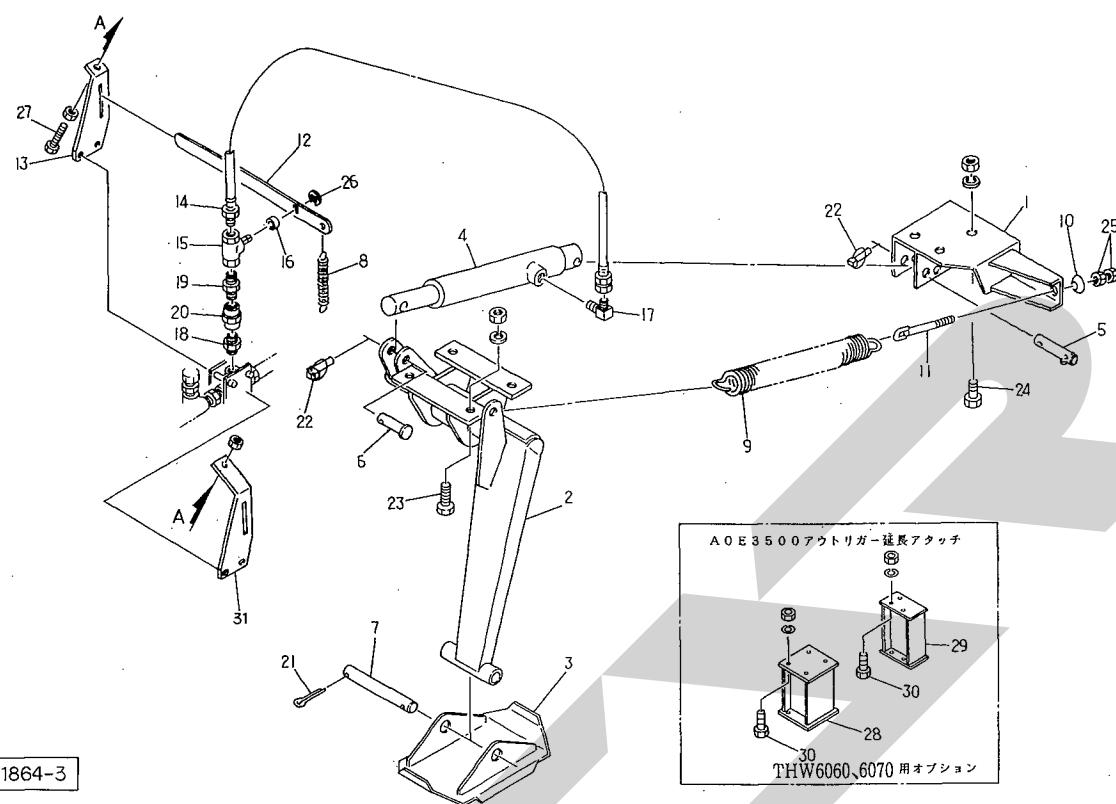
**THW3520・3530・6060・6070 ハイダンプワゴン
パネル AEB3500・6000(オプション)
延長板アタッチ**



THW 3520・3530・6060・6070 ハイダンプワゴン ユアツハイカン



番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	88000	シリンドラ ; CSO55×1630×1900 THW3520、3530	2	15	88416	ユアツホース ; 1/2×4000 THW3520、3530オプション	1
	88001	シリンドラ ; CSO65×1630×1900 THW6060、6070	2	16	KS40G	ソケット ; 1/2 THW3520、3530オプション	1
2	88416	ユアツホース ; 1/2×4000 THW3520、3530	1	17	NP08G	スプリングナット ; M8 THW3520、3530	6
	88401	ユアツホース ; 1/2×8000 THW6060、6070	1		NP08G	スプリングナット ; M8 THW6060、6070	7
3	66214	ホース ; メインシリンドラ	1	18	ONBS1	グリースニップル ; B-PT1/8	4
4	78749	ユアツホース ; 1/2×4000 THW3520、3530	1	19	00778	カプラキャップ ; 1/2	1
	88420	ユアツホース ; 1/2×5000 THW6060、6070	1				
5	CLF40M	カプラオス ; 1/2	1				
6	KLF40G	メスオスエルボ ; 1/2	1				
7	KT40G	ティー ; 1/2	2				
8	KN40G	ニップル ; 1/2	1				
9	YNP40G	ニップル ; PT1/2×PF1/2	2				
10	PD40G	ロッカクプラグ ; 1/2 THW3520、3530	1				
11	66082	クランプ ; A THW3520、3530	4				
	66082	クランプ ; A THW6060、6070	5				
12	ILT50R	インシュロック ; T50R	2				
13	BZ0870G	ボルト ; M8×70 (8.8)	2				
14	BZ0820G	ボルト ; M8×20 (8.8) THW3520、3530	4				
	BZ0820G	ボルト ; M8×20 (8.8) THW6060、6070	5				



番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	88376	ブラケット	1	26	DE07	スナップリング；E7	1
2	88377	アウトリガー	1	27	BZA1060DG	ボルト；M10×60 (全ネジ) (8.8)	1
3	88505	ブラケット	1	31	100532	ガイド	1
4	88507	シリンドラ；CSO40×145×445	1				
5	66205	ピン；φ25×77	1				
6	84228	ピン	1	28	47019	ブラケット；アウトリガー オプション	1
7	88506	ピン	見21付	29	47020	ブラケット；アウトリガー オプション	1
8	88508	スプリング	1	30	BZ1650AG	ボルト；M16×50 (8.8) オプション	10
9	72671	スプリング	1				
10	25266	球面座金	1				
11	33526	スプリングテンションロッド (L)	見25付				
12	88380	レバー	1				
13	88379	ガイドプレート	1				
14	66216	ホース；ホジョシリンドラ	1				
15	61144	ボールバルブ；3/8	見26付				
16	88378	カラ；φ16.1×8	1				
17	YL30G	エルボ；PT3/8×PF3/8	1				
18	KN40G	ニップル；1/2	1				
19	KN4030G	ニップル；1/2×3/8	1				
20	KS40G	ソケット；1/2	1				
21	PC6356G	ワリピン；6.3×56	2				
22	00739	リンチピン；9	2				
23	BZ1650AG	ボルト；M16×50 (8.8)	4				
24	BZ1640AG	ボルト；M16×40 (8.8)	3				
25	NZ12G	ナット；M12 (8)	2				



調整

S-960322K

本 社	066	千歳市上長都 1061番地2 TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412
千歳営業所	066	千歳市上長都 1061番地2 TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035
旭川営業所	070	旭川市神楽4条9丁目3番31号 TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985
豊富出張所	098-41	天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地 TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696
帯広営業所	080-24	帯広市西22条北1丁目12番地 TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187
北見出張所	090	北見市小泉302 TEL 0157-24-3880 FAX 0157-61-1344
中標津営業所	086-11	標津郡中標津町北町2丁目16番2 TEL 01537-2-2624 FAX 01537-3-2540
花巻営業所	025-03	岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1 TEL 0198-26-5741 FAX 0198-26-5746
仙台営業所	985	宮城県多賀城市町前2丁目87番地 TEL 022-367-4573 FAX 022-367-4846
小山営業所	307-02	栃木県小山市梁2512-1 TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560
名古屋営業所	480-01	愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191 TEL 0587-93-6888 FAX 0587-93-5416
岡山営業所	700	岡山県岡山市下中野704-103 TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269
熊本営業所	862	熊本県熊本市長嶺町2255-429 TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525
都城営業所	885	宮崎県都城市都北町3537-1 TEL 0986-38-1045 FAX 0986-38-4644